



精神科 科長  
小園江 浩一  
おそえ こういち

きょうは  
精神科  
です



こんにちは  
診察室です。

# うつ病の新しい治療法 ― 反復脳磁気刺激療法 (r-TMS) について ―

「うつ病」の新しい治療法  
です。のバックナンバーがご覧  
いただけます。



## はじめて

うつ病は8人に1人が生涯に一度はかかる、比較的多い病気です。



## 【うつ病の症状】

- ① 殆ど1日中、殆ど毎日、気分が落ち込む
- ② 殆ど1日中、殆ど毎日、すべての活動における興味、または

喜びの著しい減退がみられる

上記の①もしくは②の症状のいずれか、あるいは両方が2週間以上続く。更に

- ③ 食欲の減退あるいは増加
- ④ 不眠または過眠
- ⑤ 強い焦燥感あるいは動きの低下
- ⑥ ほとんど毎日の疲労感または気力の減退
- ⑦ 自分に価値がないと考えるか、自分が悪いと自分自身を責めてしまう
- ⑧ 思考や集中力の減退
- ⑨ 死を考へること、死にたいと思うこと、あるいは実際に死のうとすること

といった症状を伴います。

過労や心労などのストレスが、かかった時になりやすいのですが、特に老人の場合、誘因なく発症する場合もあります。もし、上記①もしくは②の症状がみられた場合は、早めにかかりつけの先生に相談するか、精神科あるいは心療内科を受診することをお勧めします。



## うつ病の治療

うつ病に限らず、すべての病気は早く見つけて治療を開始した方が治りは早くなります。うつ病の場合、きちんと診断して治療すれば、2・3か月で約6割の患者さんは回復します。しかし、逆に言うと、約4割の患者さんには症状が残るといふこととなります。

うつ病の治療は、第1には抗うつ剤による薬物療法です。反応しない場合には、躁うつ病（双極性障害）の治療に使う感情調整剤や非定型抗精神病薬を追加します。

その他に軽症あるいは中等度のうつ病の場合には、心理療法（カ

## 「うつ病の新しい治療法」についてご説明します。

ウンセリング）の一つである認知療法を用いることもあります。

イギリスのガイドラインでは、軽症の場合、適度な有酸素運動（ジョギング・散歩・自転車こぎなど）も勧められています。逆に死にたいという気持ちが強く危険な場合や、うつ病性昏迷と言って会話ができず食事も摂れないような重度の状態となった場合には、電気けいれん療法が行われます。

現在では、手術室で安全に行う修正型電気けいれん療法（MECT）が推奨されています。当院では全ての治療が可能です。

## 反復脳磁気刺激療法 (r-TMS)

最近、抗うつ薬による治療でなかなか治らない、中等度のうつ病に対する新しい治療法が開発されました。それは反復脳磁気刺激療法 (r-TMS) です。

患者さんには、下の写真に示すような椅子に座っていただき、頭の近くに置いた刺激装置から磁力による刺激を行い、脳の決められ



反復脳磁気刺激療法(r-TMS)の治療イメージ



装置からの磁力で脳の決められた部位に渦電流を起こす

た部位に渦電流を起こします。通常刺激時間は約40分間で、週に5日、計15〜30回行います。近くの方は外来で通っていただくことも可能ですが、遠方の方には3〜6週間入院していただき、治療を行います。当院では福島県立ふくしま医療センターこころの杜に続き、県内で2番目にこの装置を導入し、本年8月から治療を開始しました。

善の見られなかった、うつ病患者さんのうち15〜50%に効果がみられたことが報告されています。全ての患者さんに効果のある治療ではありませんが、今までの治療で改善がみられなかった患者さんでも改善する余地があるという点で、患者さんへの光明となる治療ではないかと思われれます。

うつ病は一般的な病気であり、誰がかかってもおかしくはありません。精神疾患は厚生労働省が掲げる5大疾病の一つであり、近年は「治療と仕事の両立」が強く求められています。

## おわりに

うつ病でなかなか仕事に復帰できない状態が続いている場合、かかりつけの先生を通して当院にご相談いただければ幸いです。